

野菜の作業 秋～冬期にかけての品目確保と来年の生産にむけての準備をしましょう！

種まき	定植（植付け）	栽培のポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホウレンソウ</li> <li>・シュンギク</li> <li>・コマツナ</li> <li>・ネギ</li> <li>・地ダイコン</li> <li>・ラディッシュ</li> <li>・野沢菜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハクサイ</li> <li>・タアサイ</li> <li>・チンゲンサイ</li> <li>・ニンニク</li> <li>・アサツキ など</li> </ul>	<p>【ニンニクの定植】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畑の準備 完熟堆肥200kg/a、ようりん10kg/a 苦土石灰20kg/a BB-N552 6kg/a を施用して耕起しておく。</li> <li>・定植 植付けが遅くなると根が十分に張らないので9月下旬までに定植する。うね幅60cm×2条植え 株間15cm 黒マルチを張り種球を傷つけないように1片ずつ分け植える 覆土は3cm～5cm程度（乾燥しやすいところではやや深植えとする）</li> <li>・4月上～中旬以降の養分吸収が急激に増加するので、3月中旬から4月にかけてNK化成で追肥する。</li> </ul> <p>※種球が大きいとその後の収量も多くなるので、自家栽培したものを種球とする場合は出来るだけ大球を植付ける。種球を自給したい場合は、優良種球を購入し、専用の苗圃を設けて春先からのアブラムシ防除等を徹底して、優良種球を自給する。</p>
<p>など</p>	<p>収 穫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホウレンソウ</li> <li>・ネギ</li> <li>・ブロッコリー</li> <li>・ピーマン</li> <li>・キュウリ</li> <li>・トマト</li> <li>・カボチャ</li> <li>・リーフレタス</li> <li>・サツマイモなど</li> </ul>	

【パイプハウスを活用した冬期の葉野菜栽培に向けて】

①ホウレンソウの秋蒔き栽培

- 品種：オーライ、トライ（タキイ種苗）スクープ（ナント種苗）
- 土作り、施肥：種まきの10日～2週間前には苦土石灰を散布(20kg/a)（目標pH6.5）  
完熟堆肥を200kg/a、元肥 BB-N552を20kg/a全面施用し耕起。
- は種：ホウレンソウが成長を停止する平均温度は4℃といわれており、この時期までに（上田では12月中旬）収穫できる大きさに成長出来る時期には種する。（ハウスでも無加温の場合は10月下旬までが無難）寒締めホウレンソウは、この時期に寒さに遭わせることによって（1～2週間以上）甘味が増すことを利用する作型で、成長が止まっているので収穫は必要に応じて可能！  
畝幅60～90cm・畝高10cm・通路40cmの床を作り条間は15cmとする。（は種量6テリットル/a）
- 間引き：本葉がスタート頃から順次間引きを行い、本葉4枚頃までに株間3～4cmとする。
- 追肥：生育状況を見ながら灌水を兼ねて液肥を用いて窒素成分1～2kg施用する。
- 収穫：草丈20cmを超えたら収穫期（草丈24～25cm程度が収穫適期）

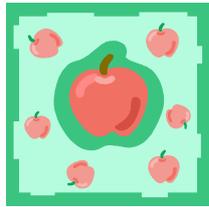
②シュンギクの秋～冬栽培

- 品種：中葉春菊（側枝の発生多く摘取り栽培にむく）
- 土作り、施肥：は種の10日～2週間前には苦土石灰を散布(15kg/a)（目標pH6.0）  
完熟堆肥を200kg/a、元肥 BB-N552を15kg/a全面施用し耕起。
- は種：シュンギクはホウレンソウより低温に弱いので、9月中旬までには種  
畝幅、条間等はホウレンソウに準ずる。
- 間引き：直まきの場合は、本葉4～5枚の時に株間15cm間隔に間引く。  
育苗後定植する場合は、本葉4～5枚時に15cmの株間で移植する。
- 防寒：5℃以上の温度を確保するよう保温資材を被服する。
- 収穫：摘取り栽培は、莖長が15～20cmの時に主枝から側枝へと摘取る。  
主枝は下葉5～6枚、側枝は2枚の葉を残す。



あさつゆでは、は種機の貸出しを行なっています。  
(500円/日)  
品目別のベルトを用意しています。芽出し処理したのも利用できます。  
(伸ばし過ぎない!!)

# 果樹の作業



## 【りんご収穫の留意点】

早生種から中生種の収穫が始まります。日中は気温が高いので、早朝の涼しい時間帯に収穫しましょう。今年の「つがる」は、着色よりも熟度が進んでいる状況ですので採り遅れの無いようにしましょう。

「シナノスイート」の心カビ果は健全果に比べ早熟で早く着色します。早期着色が目立ち始める9月上中旬に取り除いておきます。

## 【プルーンの雨除け】

スタンレイやサンプルーンの収穫時期となります。完熟したプルーンはとても美味しいですが、成熟期直前になると裂果の発生が多くなりますので雨除け資材を被覆します。

## 【台風対策】

台風シーズンになりますので、防風ネットや支柱立てなど事前の対策をおこなひましょう。

質問コーナー 山菜の種類をふやしたいのですが、今の時期どのようなものが考えられますか？



## 農業豆知識

今の時期であると以下のような山菜類の実を採取して実生繁殖を行うことができます。

- ・ツリガネニンジン（別名トトキ）・・・若芽はおひたし、油炒め、汁の実に。
- ・オオバギボシ（ウルイ）・・・柔らかい葉柄をおひたしやごまよごしに。
- ・モミジガサ（しどけ）・・・若芽をおひたしに。（シュンギクに似た独特の風味が好まれる）
- ・アケビ・・・若芽を酢の物、和え物、おひたしに。果実は、詰め物をして揚げ物や蒸し物に。

山菜の多くが種子を採取して時間をおくと発芽しにくくなるので、採りまきをおこなひます。

育苗は、プランターなどに山土と腐葉土を混ぜたものを用土として、ばらまきし薄く覆土をし、乾燥しないところにおきます。オオバギボシ、モミジガサは樹下の半日陰のところなどでよく育ちます。



## 水稻収穫適期予測



出穂期以降の平均気温を足し上げる「積算気温」により収穫開始日の予想を行っています。

品 種 名	登熟に要する積算気温	標高	出穂期	収穫開始予想日	備 考
あきたこまち	1,000℃	700m	8月 5日	9月14日～	8月27日までは実測値、以降は平年並みの気温経過として予想しています。
コシヒカリ	1,020℃	500m	8月15日	9月24日～	

●刈り遅れは「胴割れ米」の発生を助長します。計画的な収穫ができるようコンバインや乾燥施設の整備は早めに行い、ゆとりある収穫・乾燥調製の計画を立て、品質向上を第一とした作業を行いましょう。

●成熟期前5日（収穫開始適期）の刈り取りは、籾水分が高いことがあり、高水分時は、コンバインの刈り取り速度を落とし、さらに細菌やカビによる着色粒や異臭の発生を防止するため、収穫後速やかに乾燥作業へ移行しましょう。

### 【帯緑色籾歩合による収穫期の判定】

- ・「帯緑色籾歩合」とは緑色の籾が1穂内に占める割合のことです。
- ・1穂内の緑の籾が「10%」になったら収穫開始

**9月15日～10月14日は農作業安全月間です！**

日が短くなってきますが、焦らず、あわてず気持ちに余裕をもって作業を行いましょう！

あさつゆ連絡先 電話・FAX 41-1062

技術事項作成協力：上小農業改良普及センター  
櫻井主任企画員 (Tel. 25-7157)